学校番号	２１０１

平成３１年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ⅲｃ	単位数	２単位	年次	全年次
使用教科書	「数学Ⅲ　Advanced」　（東京書籍）						
副教材等	準拠問題集「PRIME　数学Ⅲ」　（東京書籍）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して、みずから考え、周りの人と協働で考える活動を行います。
・「課題を理解する→結果を予想する→解決の方向を構想する→解決する→解決の過程を振り返ってよりよい解決を考える」といった一連の過程で、自分の考えを発表したり、議論したりする活動を行います。

２　学習の到達目標

平面上の曲線，複素数平面についての理解を深め，知識の習得と技能の習熟を図り，事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに，それらを積極的に活用する態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:数学的な見方や考え方	c:数学的な技能	d:知識・理解
観点の趣旨	平面上の曲線と複素数平面に関心をもつとともに，それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。	事象を数学的に考察し表現したり，思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して，平面上の曲線と複素数平面における数学的な見方や考え方を身につけている。	平面上の曲線と複素数平面において，事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身につけている。	平面上の曲線と複素数平面における基本的な概念，原理・法則などを体系的に理解し，知識を身につけている。
評価方法	確認テスト 単元テスト ワークシート 観察等	単元テスト 定期テスト ワークシート 観察等	確認テスト 単元テスト 定期テスト 観察等	確認テスト 単元テスト 定期テスト 観察等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
中間考査まで	平面上の曲線	1節　2次曲線 放物線 楕円 双曲線 ２次曲線の平行移動 ２次曲線と直線 ２次曲線と離心率 ２節 媒介変数表示と極座標 曲線の媒介変数表示 極座標と極方程式 いろいろな曲線	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 	a: ２次曲線に関心をもち，２次曲線の性質を考察しようとしている。 b: ２ 次曲線を媒介変数や極方程式などで表すことを通して，数学的な見方や考え方を身につけている。 c: ２ 次曲線を媒介変数や極方程式を用いて表現･処理する仕方などの技能を身につけている。 d: ２ 次曲線の基本的な性質や曲線の媒介変数表示を理解し，知識を身につけている。	確認テスト 単元テスト ワークシート 観察等
期末考査まで	複素数平面	1節　複素数平面 複素数平面 複素数の極形式 ド・モアブルの定理 ２節 図形への応用 円と分点 複素数と三角形	 ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○	a: 複素数平面や複素数の極形式に関心をもち，それらの有用性を認識し，事象の考察に活用しようとしている。 b:複素数平面上の点を考察し表現したり，その過程を振り返ったりすることなどを通して，数学的な見方や考え方を身につけている。 c: $z^n=\alpha$ の解を求めたり，図形の性質を複素数平面を用いて調べるなどの技能を身につけている。 d: 複素数平面に関する基本的な概念，性質などを理解し，知識を身につけている	確認テスト 単元テスト ワークシート 観察等

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:数学的な見方や考え方
　　c:数学的な技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。